

東京湾海況情報 22-09

東京湾水質調査結果（平成22年12月分）

平成22年12月13日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：12/6わかふさ、内房：12/6ふさみ丸）
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は、内湾15～17℃、内房16～19℃で内湾では平年並み～やや高めでした。表層塩分は、前線通過に伴う降雨出水の影響で多摩川河口を中心とした内湾北西部に低塩分域が分布し、周辺の内湾域30～32、内房32～34とほぼ平年並みでした。

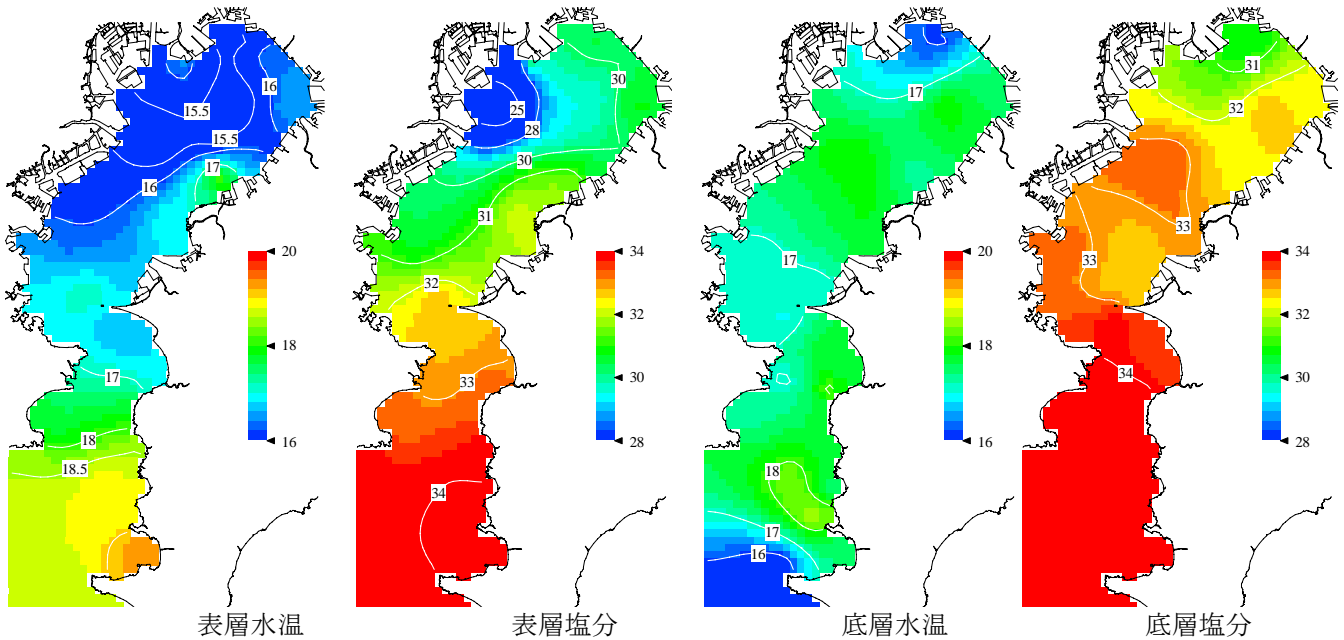


図1 水温と塩分の水平分布

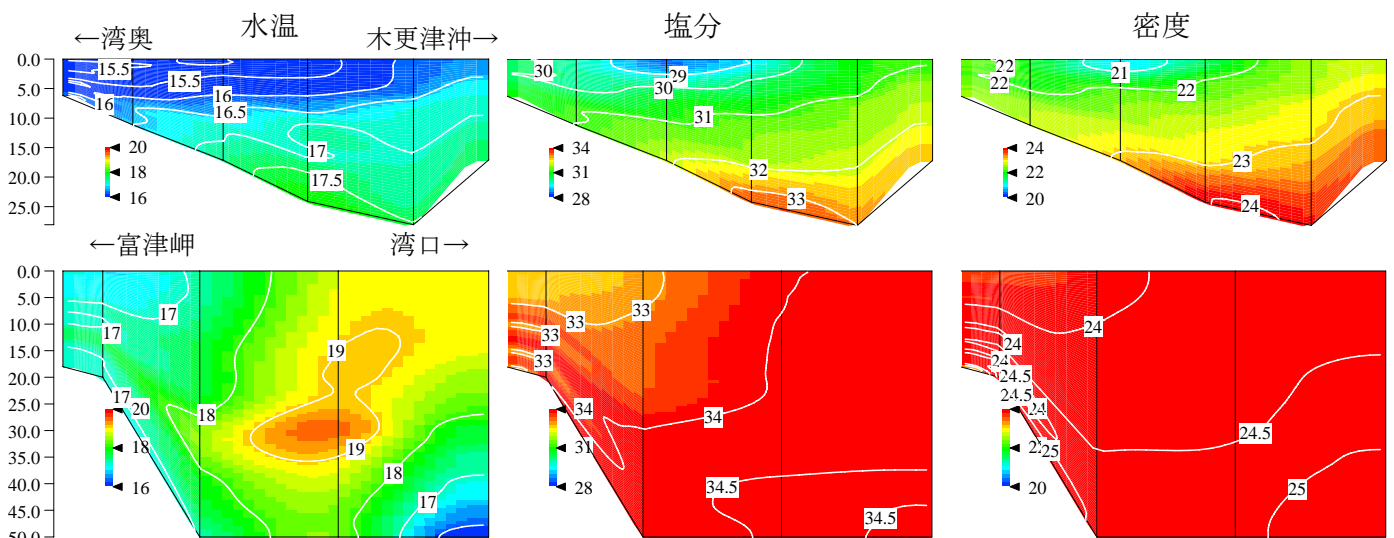


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮は、全域で発生していませんでした。
 内湾では、プランクトンがやや増加傾向を示しており、中央から北部は、透明度が2m前後で水色はやや褐色になっていました。
 優占種は、小型の渦鞭毛藻と珪藻のスケレトネマ(*Skeletonema costatum*)で、内湾北部ではギムノディニウム(*Gymnodinium* spp.)も見られていました。

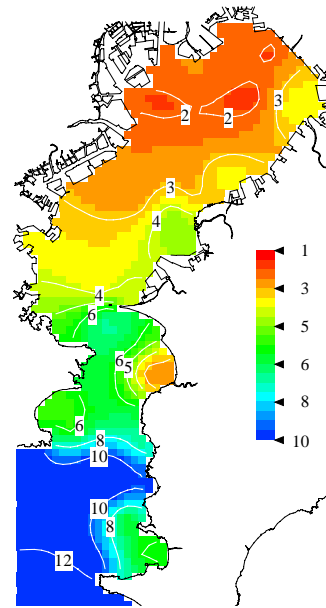


図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、全域で観測されませんでした。

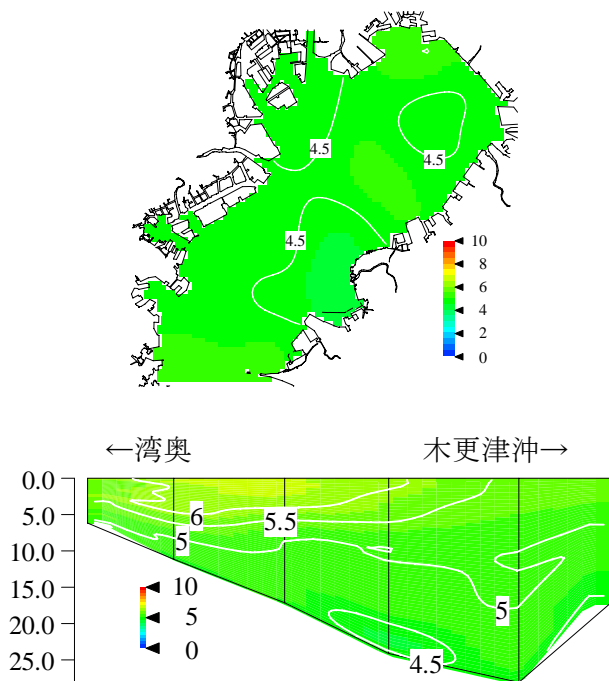


図4 内湾のDO(ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

表層の栄養塩類は、全域でDIN、PO4-Pとものり養殖にとって十分な量を維持していました。

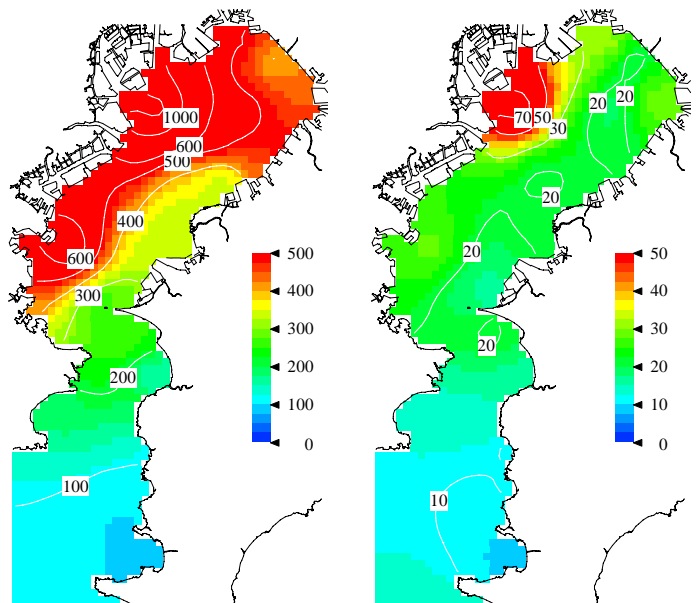


図5 表層の栄養塩類

(左:DIN, 右:PO4-P 単位はいずれも $\mu\text{g/L}$)

黒潮の状況(図6)

黒潮は、伊豆半島沖の冷水塊を迂回し八丈島と三宅島の間を北東方向に流れています。現時点では、内房への影響は出ていませんが、黒潮の流路変動が活発になっていますので、沖合水の動向には注意が必要です。

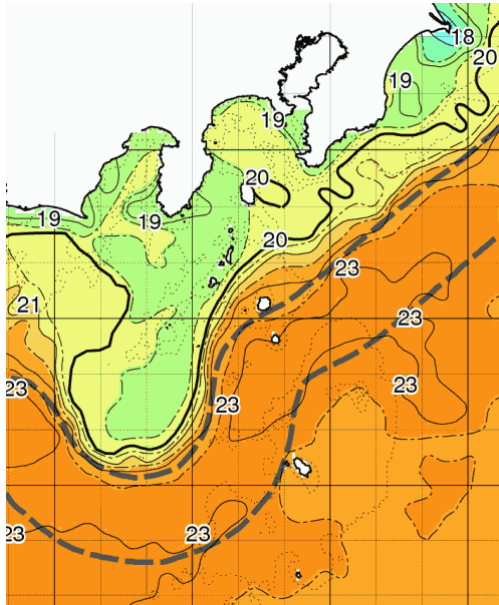
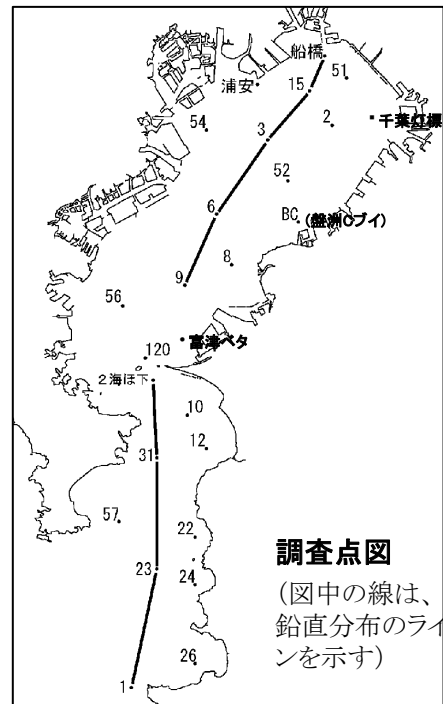


図6 黒潮の動き(12月6日)



調査点図

(図中の線は、鉛直分布のラインを示す)

表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)
(調査日：平成22年12月6日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/L}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィ ルa量 ($\mu\text{g/L}$)
内湾	船橋	2.2 (4.8)	15.5 (15.2)	30.23 (31.25)	8.3 (8.2)	5.0 (5.2)	491 (531)	29 (51)	74 (89)
	st. 15	2.3 (4.8)	15.4 (14.8)	29.70 (31.29)	8.3 (8.2)	4.7 (4.7)	503 (508)	27 (44)	65 (78)
	st. 3	2.0 (5.5)	15.5 (15.0)	28.20 (31.00)	8.3 (8.2)	4.7 (4.1)	723 (524)	33 (38)	107 (72)
	st. 6	2.5 (6.4)	15.2 (15.1)	28.92 (31.19)	8.3 (8.2)	4.5 (4.1)	606 (510)	27 (39)	78 (70)
	st. 9	3.5 (6.5)	16.2 (15.4)	30.99 (31.80)	8.3 (8.2)	4.6 (4.8)	382 (403)	19 (35)	20 (47)
	盤洲Cブイ	3.8 (5.7)	17.9 (15.8)	31.44 (31.59)	8.2 (8.2)	4.7 (4.3)	325 (461)	21 (40)	29 (61)
	st. 8 (盤洲Aブイ)	4.5 (5.7)	16.8 (15.4)	31.86 (31.94)	8.2 (8.2)	4.1 (4.5)	328 (421)	21 (38)	32 (54)
	富津ベタ	4.0 (5.2)	16.5 (15.4)	31.81 (31.98)	8.3 (8.2)	4.7 (4.9)	292 (368)	15 (32)	23 (48)
内房海域	第2海ほ下	7.0 (7.4)	16.6 (15.9)	32.53 (32.81)	8.2 (8.2)		256 (299)	19 (30)	35 (39)
	st. 31	6.5 (12.5)	17.1 (16.9)	32.82 (33.15)	8.2 (8.2)		212 (227)	14 (22)	11 (27)
	st. 23	12.0 (17.8)	18.8 (18.9)	33.96 (34.04)	8.2 (8.2)		95 (103)	10 (12)	7 (15)
	st. 1	11.0 (18.5)	18.8 (18.9)	34.01 (34.29)	8.2 (8.2)		87 (69)	10 (9)	8 (13)
	st. 10 (下洲沖)	6.0 (9.6)	16.5 (16.8)	32.73 (33.18)	8.2 (8.2)		251 (232)	20 (23)	42 (27)
	st. 12 (湊沖)	2.5 (8.3)	16.8 (16.8)	33.08 (33.32)	8.2 (8.2)		138 (195)	14 (20)	8 (24)
	st. 22 (保田沖)	7.5 (14.3)	18.5 (18.7)	33.86 (34.12)	8.2 (8.2)		106 (96)	10 (12)	7 (16)
	st. 24 (富山沖)	10.0 (14.4)	18.8 (18.9)	34.02 (34.22)	8.2 (8.2)		89 (80)	10 (10)	4 (15)
	st. 26 (館山湾内)	6.0 (14.2)	19.3 (19.2)	34.15 (34.28)	8.2 (8.2)		59 (69)	7 (9)	6 (13)

分析中

(): 過去10年間の平均値

※透明度、pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮、DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。